最新の国内実態調査結果に基づく 診断参考レベルの設定

医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME)

1

CT - 調査方法

成人

- 日本医学放射線学会(2014)
 - 専門医修練機関(>100床、放科医常勤)712施設、1日の全CT検査
 - 443施設797CT装置24,860検査の撮影条件を収集、体重分布も
- 日本診療放射線技師会(2013)
 - 学会誌同封アンケート、体重65kgの典型的撮影条件
 - 307施設(無床~500床以上)からの回答を収集

小児

- 日本診療放射線技師会(2013)
 - 上記アンケート、1歳未満/1~2歳/3~5歳/6~10歳/11~15歳
- 日本放射線技術学会(2012)
 - 過去調査に回答履歴のある339施設、標準的体厚の典型的条件
 - 196施設、1歳未満/1~5歳/6~10歳

CT - 線量調査結果

- 標準体格
 - 50~60kgが最頻、但し冠動脈CTは60~70kgが最頻
- 成人の75 percentile

	日本医学放射	才線学会2014	日本診療放射線技師会2013		
	CTDI _{vol} (mGy)	DLP (mGy·cm)	CTDI _{vol} (mGy)	DLP (mGy·cm)	
頭部単純ルーチン	90.3	1416	81.5*	1168.2*	
胸部1相	14.56	553.3	15.1*	510.7*	
胸部~骨盤1相	18.1	1269			
上腹部~骨盤1相	20.1	1010	17.8 ^{*,} **	696*,**	
肝臓ダイナミック	14.7	1820.4			
冠動脈のみ	74.9	1439	98	1392	

- *) 補正係数にて55kg相当に補正した値
- **)「腹部」のアンケート結果

CT - 提案するDRL

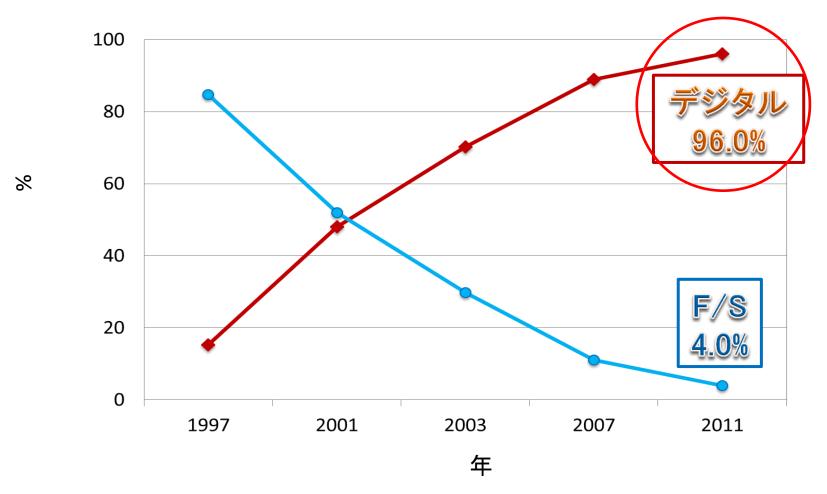
成人	CTDI _{vol} (mGy)	DLP (mGy·cm)
頭部単純ルーチン	85	1350
胸部1相	15	550
胸部~骨盤1相	18	1300
上腹部~骨盤1相	20	1000
肝臓ダイナミック	15	1800
冠動脈	90	1400

小児	1歳未満		1~5歳		6~10歳	
	$CTDI_{vol}$	DLP	$CTDI_{vol}$	DLP	$CTDI_{vol}$	DLP
頭部	38	500	47	660	60	850
胸部	11 (5.5)	210 (105)	14 (7)	300 (150)	15 (7.5)	410 (205)
腹部	11 (5.5)	220 (110)	16 (8)	400 (200)	17 (8.5)	530 (265)

^{※ 16}cmファントムによる値を示し、括弧内に32cmファントムによる値を併記した。

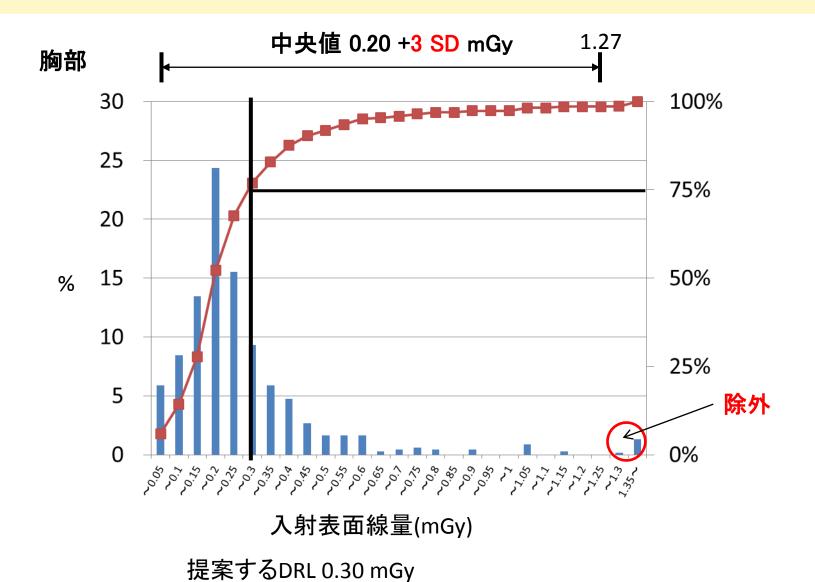
一般撮影-調査対象の特徴

デジタルおよびフィルム/スクリーン系装置割合の変遷



DRLはデジタル装置のデータのみを用いて検討を行った

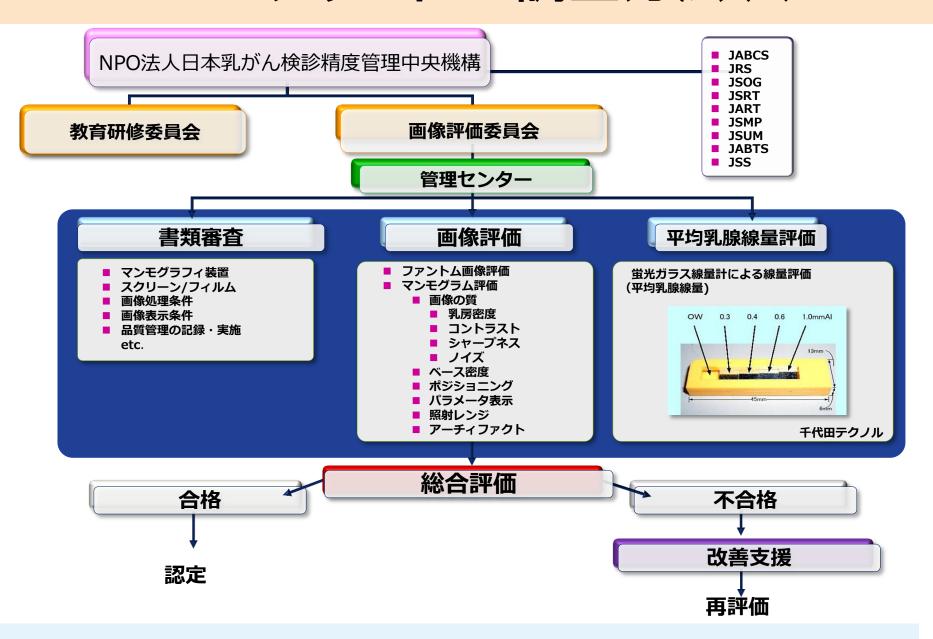
一般撮影-調査結果(例)



一般撮影 - 提案するDRL

検査 (n)	中央値	25% 線量	75% 線量	2006 ガイドライン	2013 DRL
			(mGy)		
頭部 A→P, P→A (619)	1.84	1.29	2.62	3.0	3.0
頭部側面 (609)	1.40	0.96	1.98	2.0	2.0
頸椎 (618)	0.64	0.45	0.90	0.9	0.9
胸椎 A→P (610)	2.36	1.54	3.40	4.0	3.0
胸椎側面 (605)	3.96	2.42	5.96	8.0	6.0
胸部 P→A (677)	0.20	0.15	0.29	0.3	0.3
腹部 (643)	2.04	1.30	3.09	3.0	3.0
腰椎 A→P (621)	3.00	2.10	4.34	5.0	4.0
腰椎側面 (623)	8.16	5.31	11.07	15.0	11.0
骨盤 (615)	2.18	1.53	3.09	3.0	3.0
大腿部 (606)	1.40	0.89	1.97	2.0	2.0
足関節 (612)	0.16	0.12	0.22	0.3	0.2
前腕部 (610)	0.12	0.08	0.16	0.2	0.2
グースマン法 (311)	3.76	2.14	6.23	9.0	6.0
マルチウス法 (284)	4.37	2.57	7.12	10.0	7.0
乳幼児 (423)	0.11	0.08	0.16	0.2	0.2
幼児胸部 (442)	0.14	0.10	0.22	0.2	0.2
乳幼児股関節 (422)	0.12	0.08	0.19	0.2	0.2

マンモグラフィ - 調査方法(1)



マンモグラフィ - 調査方法(2)

ファントム画像評価

ACR 推奨ファントム

JRS 推奨ファントム

デジタルマンモグラフィ QC ファントム



Detection of simulated lesions



≥ 参考値

線量評価(Average glandular dose: AGD)

IEC (EUREF) 手法による AGD 測定



平均乳腺線量(AGD)

≤ 3.0 mGy

40 mm

マンモグラフィ - 調査結果

平均乳腺線量(AGD)平均值:1.77 mGy±0.39 mGy 50%:1.70 mGy 5%/10%/25%: 1.10 mGy/1.20 mGy/1.50 mGy 台 75%/90%/95%: 2.00 mGy/2.20 mGy/2.40 mGy 600 2001.1~2014.3(4,816 台) 500 400 300 200 100 0 \$\\ \phi \quad \phi \quad \qua 平均乳腺線量(AGD)[mGy]

口内法X線撮影-調查方法(1)

ThinX Rad (RaySafe) 空気カーマ, kVp, 空気カーマ率, HVL, 照射時間, パルスを測定



口内法X線撮影-調査方法(2)

ロ内法X線撮影装置パラメータ

	最 小	最 大	中間値	平均(SD)
患者入射線量率 [mGy/s]	2.6	13.2	8.6	7.7(2.3)
管電圧[kV]	58.0	70.9	67.3	65.1(4.6)
管電流 [mA]	6.0	20	7.0	7.8(2.8)
総ろ過[mm Al eq.]	1.5	2.5	2.0	2.0(0.3)
半価層[mm Al]	1.5	2.7	2.0	2.0(0.3)
照射時間[ms]	41	799	122	150(84)
焦点-コーン先端間距離[mm]	150	305	200	215(40)
コーン先端での照射野サイズ[mm Φ]	54	60	60	59(2)

口内法X線撮影 - 調査結果(成人)

患者入射線量(PED)[mGy]

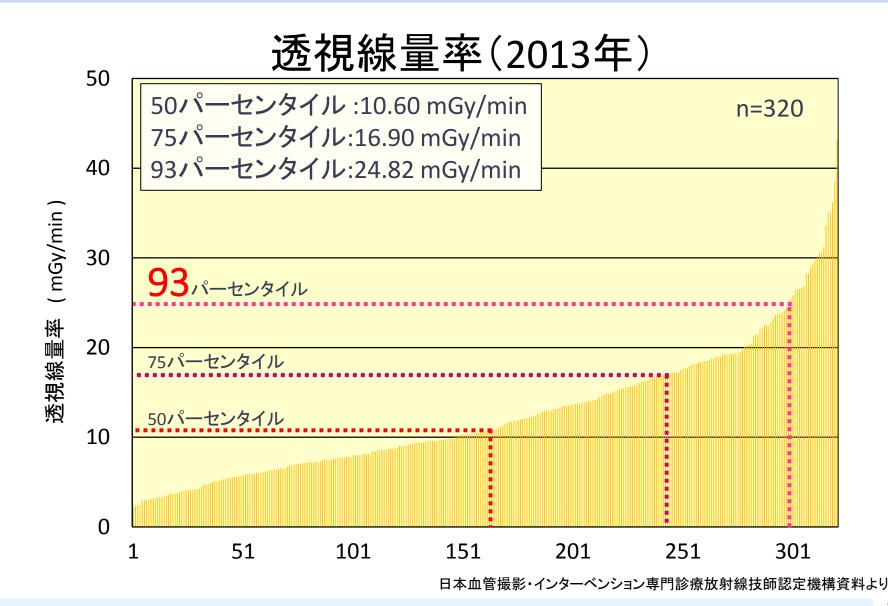
撮影部位	最 小	最 大	中間値	平均(SD)	第3四分位数	提案DRL
上 顎 前歯部	0.53	2.37	1.09	1.12(0.42)	1.32	1.3
上 顎 犬歯部	0.51	2.96	1.25	1.31(0.49)	1.56	1.6
上 顎 小臼歯部	0.60	4.72	1.47	1.48(0.74)	1.70	1.7
上 顎 大臼歯部	0.60	5.91	1.65	1.85(0.97)	2.26	2.3
下 顎 前歯部	0.51	2.05	0.85	0.89(0.36)	1.05	1.1
下 顎 犬歯部	0.53	2.37	0.95	1.04(0.40)	1.11	1.1
下 顎 小臼歯部	0.53	2.96	1.07	1.13(0.47)	1.22	1.2
下 顎 大臼歯部	0.53	3.70	1.31	1.44(0.61)	1.77	1.8

口内法X線撮影 - 調査結果(小児)

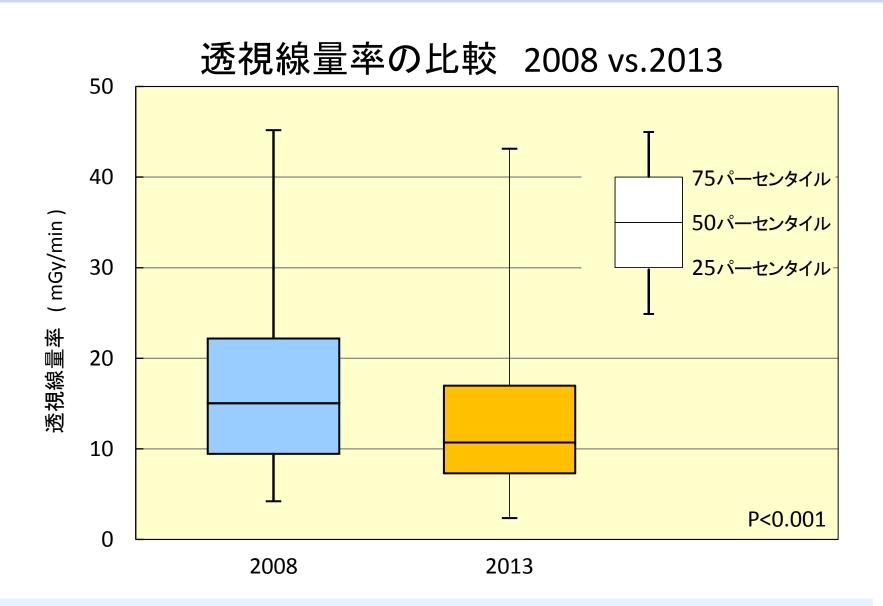
患者入射線量(PED)[mGy]

撮影部位	最 小	最 大	中間値	平均(SD)	第3四分位数	提案DRL
上 顎 前歯部	0.34	2.37	0.75	0.83(0.37)	0.94	0.9
上 顎 犬歯部	0.34	2.96	0.92	0.93(0.45)	0.95	1.0
上 顎 小臼歯部	0.34	3.70	0.95	1.05(0.58)	1.12	1.1
上 顎 大臼歯部	0.34	4.72	1.14	1.25(0.75)	1.32	1.3
下 顎 前歯部	0.34	1.86	0.59	0.67(0.31)	0.74	0.7
下 顎 犬歯部	0.34	2.37	0.68	0.75(0.38)	0.91	0.9
下 顎 小臼歯部	0.34	2.96	0.74	0.85(0.48)	0.93	0.9
下 顎 大臼歯部	0.34	2.96	0.95	1.02(0.45)	1.11	1.1

IVR - 線量調査結果



IVR - 線量調査結果の分析



IVR - 提案するDRL

透視線量率として

20_{mGy/min} 以下

を提案する。

(2013年度調査では、87%が20mGy/min 以下)

核医学 - 調査方法

診断参考レベル(DRL)(案)を作成するために成人の実投与量(MBq)に関する全国調査を実施した。

調査期間:平成26年11月25日から平成27年1月15日

調査団体:

日本核医学会、日本核医学技術学会、

日本放射線技術学会、日本診療放射線技師会

配布施設数: 1,249、回答施設数: 516(41%)

核医学 - 放射性医薬品の供給状況

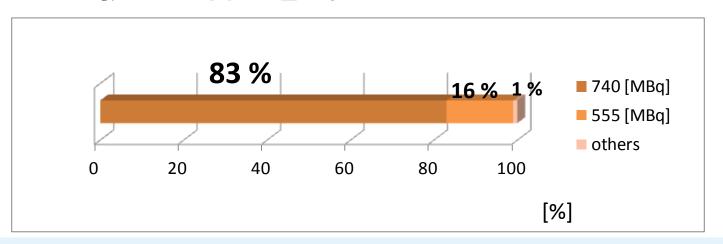
標識済製剤(シリンジタイプ) 71%

院内標識製剤 29%

^{99m}Tc-(H)MDP 製剤の殆どは740MBq(検定量) を使用

実投与量は投与した時間により決まる

一般的な投与時間を考慮



核医学 - DRL作成上の留意点

全国調査結果の75パーセンタイルの投与量を基準にDRL (案)とした。

本邦の実情や画質等を考慮し、日本核医学会放射線防護委員会での検討を経て 設定した。

欧州各国で採用されているDRL値を参考にした。

DRL設定にあたり、現場の混乱を招くことなく実施可能な値を設定するよう心がけた。

PETガス検査のように患者への供給放射能と投与放射能の概念が明確になっていない検査では整合性に課題のあるものもある。

核医学 - 提案するDRL

実投与量(MBq)として

検査及び放射性薬剤	DRL(MBq)	検査及び放射性薬剤	DRL(MBq)	検査及び放射性薬剤	DRL(MBq)
骨: ^{99m} Tc-MDP	950	肝•脾: ^{99m} Tc-phytate	200	副腎髄質: ¹³¹ I-MIBG	45
骨: ^{99m} Tc-HMDP	950	肝機能: ^{99m} Tc-GSA	260	副腎髄質: ¹²³ I-MIBG	130
骨髄: ¹¹¹ In-Cl	120	肝胆道: ^{99m} Tc-PMT	260	腫瘍: ²⁰¹ TI-Cl	180
脳血流: ^{99m} Tc-HM-PAO (安静あるいは負荷1回のみ)	800	肝•脾: ^{99m} Tc-Snコロイト	180	腫瘍•炎症: ⁶⁷ Ga-citrate	200
脳血流: ^{99m} Tc-HM-PAO (安静+負荷)	1200	心筋血流: ²⁰¹ TI-Cl	180	リンパ管: ^{99m} Tc-HSA-D (保険適応外)	950
脳血流: ^{99m} Tc-ECD (安静あるいは負荷1回のみ)	800	心筋血流: ^{99m} Tc-tetrofosmin (安静あるいは負荷1回のみ)	900	センチネルリンパ節:99mTc-Snコロ仆	120
脳血流: ^{99m} Tc-ECD (安静+負荷)	1100	心筋血流: ^{99m} Tc-tetrofosmin (安静+負荷)	1200	センチネルリンパ節:99mTc-phytate	120
脳血流:123HMP(安静あるいは負荷1回のみ)	200	心筋血流: ^{99m} Tc-MIBI (安静あるいは負荷1回のみ)	900	RIアンギオグラフィ: ^{99m} Tc-HSA-D	1000
脳血流:123I-IMP(安静+負荷)	300	心筋血流:99mTc-MIBI(安静+負荷)	1200	腫瘍検査:院内製造された18F-FDG	240
脳疾患:イオマゼニル(¹²³ l)	200	心筋脂肪酸代謝:123I-BMIPP	130	腫瘍検査:デリバリーされた ¹⁸ F-FDG	240
ト゛パミントランスポ゚ータ:イオフルパン(¹²³ l)	190	心交感神経機能:123I-MIBG	130	脳検査:院内製造された18F-FDG	240
脳槽・脊髄腔:111In-DTPA	70	心プール: ^{99m} Tc-HSA	1000	脳検査:デリバリーされた ¹⁸ F-FDG	240
甲状腺摂取率:123I-NaI	10	心プール: ^{99m} Tc-HSA-D	1000	¹⁵ O-CO₂ガス∶2D	8000
甲状腺: ^{99m} Tc-pertechnetate	300	心筋梗塞: ^{99m} Tc-PYP	800	¹⁵ O-O ₂ ガス:2D	6000
副甲状腺: ²⁰¹ TI-CI	120	唾液腺: ^{99m} Tc-pertechnetate	370	¹⁵ O-COガス:2D	3000
副甲状腺:99mTc-pertechnetate	300	メッケル憩室: ^{99m} Tc-pertechnetate	500	¹⁵ O-CO ₂ ガス:3D	2900
副甲状腺: ^{99m} Tc-MIBI	800	消化管出血:99mTc-HSA-D	1040	¹⁵ O-O ₂ ガス:3D	7000
肺換気: ^{81m} Kr-ガス	200	腎静態: ^{99m} Tc-DMSA	210	¹⁵ O-COガス:3D	7500
肺換気: ¹³³ Xe-ガス	480	腎動態: ^{99m} Tc-MAG3	400	心臓検査:院内製造された ¹⁸ F-FDG	240
肺血流:99mTc-MAA	260	腎動態:99mTc-DTPA	400	心臓検査:デリバリ―された ¹⁸ F-FDG	240
RIベノグラフィ: ^{99m} Tc-MAA	500	副腎皮質: ¹³¹ I-アドステロール	44	心臓検査: ¹³ N-NH ₃	720